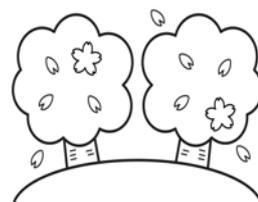


ご入学、ご進級おめでとうございます。

学校給食は、教育の一環として特別活動に位置付けられています。成長期の子ども達に、食生活に関する知識や理解を深めていくことをはじめ、心の交流の場としても大きな意義を持っています。また、望ましい食習慣の形成には、家庭での食事も大変重要になってきます。子ども達が、生涯にわたって健康でいられるように、家庭と学校との連携を大切に、指導してまいりたいと思います。ご家庭におかれましても、より一層のご理解とご協力をお願い致します。

学校給食の目標

- (1) 適切な栄養をとり、健康の維持増進をはかること。
- (2) 日常生活における食事について、望ましい食習慣を身につけること。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと。
- (4) 食べ物が自然の恵みであることを理解し、生命や自然環境を大切にすること。
- (5) 食生活がさまざまな人に支えられていることを知り、感謝する態度を養うこと。
- (6) わが国や各地域の伝統的な食文化についての理解を深めること。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。



学校給食の栄養



1年生と6年生を比べて見たことがありますか？小さくてかわいらしい1年生が、大きくてたくましい6年生に成長します。小学校の6年間は、成長盛んな時期です。特にバランスのとれた食生活が大切です。

学校給食では、子ども達が1日に必要な栄養量の1/3がとれるようになっています。また、カルシウムは必要量の1/2がとれるようになっています。

食事の内容

主食(ご飯・パン・めん)、牛乳、おかず(主菜・副菜)を組み合わせた栄養バランスのとれた食事です。

日本型の食生活を大切にして、昔から伝わる行事食や郷土料理を取り入れます。

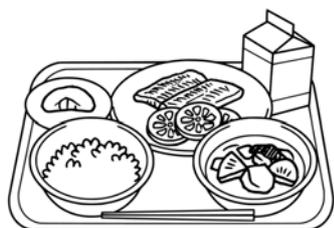
旬の素材を使い、季節の味と自然の味を大切にしています。

脂質の取りすぎを防ぐため、一食に占める脂質の割合が25～30%以内になるように献立をたてています。

豆類やいも類、野菜など家庭で摂取しにくい食品を多く使用しています。

食品添加物や遺伝子組み換え食品などについては、できるだけ使用せず、安全な食品を利用しています。

給食費と回数



食費は、1ヶ月4,000円です。(年11回徴収・1食238円)

1年生は、4月のみ2,810円です。

給食費は、すべて食材料費に使用します。

(人件費・設備費・水道代・光熱費は公費負担です。)

給食回数は、年間185回です。(1年生は180回)

給食費の減額は、連続5日を越えて欠食の場合に、届け出の翌々日からとなります。連続5日以内の欠食は減額しません。

お知らせ：次号から行事食や旬の食材等を使った料理を紹介していきます。